

2011年度

科目名	日本語学講読Ⅱ				
担当教員	宇都宮 啓吾				
配当	日文2(2111)		コード	12034	
開期	前期	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	言語資料の分析				
目的と概要	古典籍から現代の文献やメディアを対象として、そこから様々な文化史的な事象や言語事象を読み解いていく作業を行ないます。				
成績評価法	テスト(80%)と平常点(20%)で総合的に評価します。(全講義数の2/3以上出席することが前提であり、出席するだけで平常点が得られるわけではありません。「履修に当たっての注意・助言」を参照のこと。)				
テキスト	特に指定しません。適宜、プリントを配布します。				
参考書	特に指定しません。適宜、紹介します。				
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	準備学習(時間外学習):講義の際に配布したプリントの熟読と講義中に指示した課題を次の時間までに解決しておくこと。 学則に従って出席(遅刻・早退等については便覧を参照のこと)を取ります。全講義数の2/3以上出席することが前提ですが、単に出席だけでなく、まじめに講義を受けることが基本です。特に、他の人の迷惑になる私語や受講放棄のような内職・居眠り等については、欠席と同様に扱います。教員としては、授業の流れや雰囲気壊したくないために、できれば不真面目な学生への注意は最小限に留めたいと考えていますが、問題と考えられる場合には注意します。その場合、3回を以って、当該学生は受験停止とします。				
講義計画					
1 オリエンテーション(講義計画・評価方法の説明) 2 日本語研究とは 3 位相を巡る問題②(伊曾保物語) 4 位相を巡る問題③(枕草子と徒然草) 5 位相を巡る問題④(枕草子と徒然草) 6 位相を巡る問題⑤(源氏物語:雨夜の品定め) 7 位相を巡る問題⑥(江戸時代文献) 8 位相を巡る問題⑦(敬語表現) 9 位相を巡る問題⑧(流行語・若者言葉・方言) 10 小総括 11 史的変遷を巡る問題①(漢語副詞「全然」) 12 史的変遷を巡る問題②(漢語副詞「全然」) 13 史的変遷を巡る問題③(発心集) 14 小総括 15 総括					